

第6回 リニアまちづくり推進本部会議

□開催通知 ■結果報告

開催日時：令和8年6月25日(木) 14時30分～

会場：第1特別会議室

事案担当課：リニアまちづくり課

[案 件]

橋本駅南口地区のまちづくりにおける公共空間の活用について

[概 要]

駅前の公共空間については、交通結節点となる交通広場の整備に向けた取組を進めるとともに、更なる魅力向上に向け、まちの利便性向上や賑わい創出に資する地下空間の活用について検討を進めている。

また、今年度、リニア中央新幹線の駅の改札から地上に繋がる通路の基本設計を予定している。

加えて、リニア中央新幹線については、当初計画した 2027 年の開業が難しく、見通しが示されていない状況にある。

こうした状況を踏まえ、橋本駅南口において、公共空間の活用について地下空間を含めたより詳細な検討を行うもの

[経 過]

- ・令和5年 3月 土地区画整理事業及び街路事業の都市計画決定
- ・令和5年11月 「リニア駅周辺まちづくりガイドライン」策定
- ・令和7年 1月 街路事業（橋本西通り線、橋本駅氷川線）事業認可
- ・令和7年 9月 土地区画整理事業（UR 施行）事業認可
- ・令和7年11月 「リニア駅周辺まちづくりガイドライン概要版」により
まちのイメージを公表
- ・令和8年 5月 街路事業（大西大通り線）事業認可申請
- ・令和8年 5月 第4回 リニアまちづくり推進連絡調整会議
- ・令和8年 6月 第6回 リニアまちづくり推進幹事会議
- ・令和8年 6月 石井副市長・市長公室・財政局・都市建設局打合せ
- ・令和8年 6月 第7回 リニアまちづくり推進幹事会議

[出席者（構成員等）]

■市長（本部長）

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| ■石井副市長（副本部長） | ■奈良副市長（副本部長） | ■萱野副市長（副本部長） | ■細川教育長（副本部長） |
| ■市長公室長 | ■市長公室理事 | ■総務局長 | ■財政局長 |
| ■危機管理局長 | ■市民局長 | ■こども・若者未来局長 | ■環境経済局長 |
| ■都市建設局長 | ■都市建設局理事 | ■緑区長 | ■教育局長 |
| ■消防局長 | | | |

【令和８年５月２８日 第４回リニアまちづくり推進連絡調整会議】

<主な意見>

・本市では、地下空間の実績があまりないと思うが、道路・都市施設など位置づけを見据えた中で行っていただきたい。（路政課）

・商業施設を誘致したいのであれば、他都市の事例も確認しながら進めていただきたい。（路政課）

・地下空間整備を行うことで、全体工程が遅れることになる関係各者の投資判断への影響もあると思っている。（地域経済政策課）

・他事業の工事が遅れることによる損失補償や、営業補償など市が負担する前提で進めるのか。（地域経済政策課）

⇒投資判断への影響や他事業が遅れることのリスク等を考慮した上で、今後、委託調査を行い、会議に諮りたいと考えている。（リニアまちづくり課長）

【令和８年６月１９日 第６回 リニアまちづくり推進幹事会議】

<主な意見>

・今の時点で品川名古屋が地下にあると思うが、リニアに関連して地下を活用しているところがあるか。（副市長）

⇒品川、名古屋のみである。橋本駅以外の中間駅は地上駅である。それ以外は、今の段階では承知はしていない。（リニアまちづくり課長）

⇒名古屋はリニア駅周辺だけでなく、全体的に検討している。（都市建設局理事）

・７０～１００万都市くらいの同規模の都市で地下空間を持っているところはあるか。（副市長）

⇒浜松、静岡はある。岡山や新潟は商業施設下にある。（都市建設局長）

・地下空間に対する様々な要望や意見とあるが、賛成のものなのか。（緑区長）

⇒いただいているのは賛成が多いが、実際に整備を本当に進めるのかという声もある。（都市建設局理事）

・地下空間が整備された場合に、北口までつないだ方が良いという意見が出る可能性があるが、どのように考えているか。（緑区長）

⇒南北は、地上の自由通路でつなぐことを考えている。ＪＲ 東日本部分まで抜くのは線路もあり、難しい。（都市建設局長）

・地下空間は市の所有になるのか（経済部長）

⇒例えば、駐車場は、附置義務条例で整備が必要な分を京王やＪＲに対して費用負担をいただくなどの方策も考えられる。公共下に作るものは、市の駐車場になることが考えられる。（リニア駅周辺まちづくり担当部長）

・防災に係るシェルター的なところで、民地で地下空間を防災の指定はしているのか。（危機管理統括部長）

⇒現状していないが、今考えているのは公共下なので物資的なモノは協定を結んで対応することは考えられる。(リニア駅周辺まちづくり担当部長)

・防災に関する貴重な空間が主体的にできることがあるのであればなお良い。(危機管理統括部長)

・令和8年の予算において、現計予算で対応できる内容であるため、あえて記載する必要はないのではないか。(財政部長)

・地下空間の整備は、費用が掛かるので説明の合理性も必要になる。防災シェルターについては、理解できるが、駐車場については、違和感がある。地下の駐車場スペースについては、どのように考えているか。(環境経済局長)

⇒地下に駐車場を整備する前提ではない。地上に駐車場があるべきだということであれば市の所有する宅地はないので、宅地を購入することになる。(リニア駅周辺まちづくり担当部長)

・現在工事している新宿駅などを参考にした方が良い。基本設計まで想定しているのであれば、鉄道事業者と良く調整しないとイケない。(市長公室長)

・都市計画決定のスケジュールは、考慮されているのか。(都市計画課長)

⇒今回は、調査委託のみなので、今後検討する項目となる。実際に整備する場合は、条例も必要になることが想定される。都市計画についても検討していきたい。(リニア駅周辺まちづくり担当部長)

・地下空間の広さや深さはどのくらいか。(環境部長)

⇒リニア駅が地下10mくらいなので、地下2階くらいのイメージ。地下空間の広さはまだ確定していないが、広さも含めて検討していく。(リニア駅周辺まちづくり担当部長)

・商業店舗はできるのか。(環境部長)

⇒交通広場の下では整備が難しいと考えているが、民地の地下は準地下街になるので、民地の方を誘導していきたいと考えている。(リニア駅周辺まちづくり担当部長)

・事業費について、財源もセットで考えていただきたい。また、国も防災シェルターについて、本腰入れてきているので、地下空間の検討を始めるのであれば関係者と一緒に作ることで、財政負担を下げたい。シェルター関連については、現在無い補助金も創設される可能性もある。(財政局長)

・政策部門として、政策上の位置づけについてどう考えているか。(副市長)

⇒橋本駅南口地区のまちづくりにおける公共空間の利活用という視点であれば、ガイドラインにも位置づけがあるのではないかと。(市長公室長)

・資料自体は、一部修正とし、基本的には、原案のとおりで承認するが、進め方は改めて整理する必要がある。(副市長)

・進め方などについて、副市長と3局(市長公室、財政局、都市建設局)で検討させていただきたい。(市長公室長)

【令和8年6月23日 第7回 リニアまちづくり推進幹事会議】

6月19日に開催された第6回幹事会議において、原案のとおりで承認することとしたが、政策上の位置づけや進め方について、石井副市長、市長公室、財政局、都市建設局で調整し、議論した結果、これらの考え方について整理し、一定の資料修正をすることとしたため、再度、幹事会議に諮ることとしたもの。

＜主な意見＞

・今後のスケジュールで大規模事業評価については何を諮る予定か。これまでも大規模事業評価は行ったと思うが、変更点について諮るか、そもそも諮る必要があるか。

（総務局長）

⇒事業としては既に大規模事業評価に諮っているが、基盤に関わる変更内容なので経営監理課とも調整が必要と認識している。事業費が大きいと想定されるので、事業として諮る必要があるかは改めて調整したい。現状の枠組みの中で地下空間を活用するという整理ができれば大規模事業評価の手続き部分を省略できると考える。（都市建設局理事）

・今後も追加されることがあるのであれば、まとめて大規模事業評価でも良いと思っているが、必要があるかどうかについては良く担当課と意見交換していただきたい。

（総務局長）

・今回については、公共空間の活用の中で検討を深度化させるという認識である。是非、フラットな目で見ていただき、本当に実施するかどうかは委託調査の中で見ていただきたい。（財政部長）

【令和8年6月25日 第6回 リニアまちづくり推進本部会議】

・3年前くらいに地下空間が必要ではないかと関係者から言われていた。土地区画整理事業の13.7haの限られた土地の中で、公共空間（交通広場）が狭いと思っていた。過去、都市建設局で議論の俎上に上がらなかった理由はあったのか。（市長）

⇒まず駅前にどういった機能が必要かについて議論していた。バスやタクシー、一般車乗降場など地上で確保できるものは検討していた。また、2027年のリニア開業を見据えた中で事業費なども含めて検討していたと思われる。（都市建設局理事）

・地下空間については、団体からも提案がされていたこともあり、今回、公共空間という視点で議論されたのは良かった。3ページの交通広場の大きさは、どのくらいなのか。（市長）

⇒既存の交通広場は、約6,500㎡。新たな交通広場は、約13,300㎡で約2倍となる。（都市建設局理事）

・広場に置く機能は、調査をした結果のものか。（市長）

⇒例えば路線バスについては、既存は南口に5バースあるが、北口にある三ケ木行き、城山高校行きの2バース分を南口に持ってきた。事業者と調整して6バースにしてい

るがその内1バースは連節バスとなっている。(都市建設局理事)

・高速バスは3バースにしたのか。(市長)

⇒1日182台の発着で2バースにしていたが、仮に180台来たとしても余裕をもって3バースとしている。拡張可能性等について検討中である。(都市建設局理事)

・立川や町田を見ても1日20台程度となっている。リニアが1時間1本だった場合はどのくらい必要になるか。(市長)

⇒想定になるが1バースで足りる台数になるかと思う。(都市建設局理事)

・6ページについて、アンブレラフリーや地下駐車場でパーク&ライドは魅力的と思う。7ページについて、整備コストの妥当性とあるが、費用対効果の検証は必要である。事業費はどのくらい見込んでいるのか。(市長)

⇒詳細は委託の中で算出する予定であり、導入する機能によっても異なると思われるが、他市で整備した事例などを参考に、仮に設定した面積で算出した概算額は、約9,400㎡で約170億円である。(都市建設局理事)

・まちづくりの関係者は、地下空間について、どんな反応になるか。(市長)

⇒各社の意向は事業への影響も様々で、プラス面、マイナス面含めて様々な反応があると思われる。(都市建設局理事)

・各者の開発には、物価高騰が影響しているのか。(市長)

⇒名古屋開業時点では建物の建設投資は、難しいと思われるので、大阪開業時点での投資を想定していると思われる。(都市建設局長)

・部分開業の話は出てきていないのか。(市長)

⇒出てきていない。開業時期が近々と報道は出ており、今後見通しが示されるものと思われる。(都市建設局長)

・9ページについて、財源確保とあるが、特定財源は何を見込んでいるか。(市長)

⇒国との調整も必要になるが社会資本整備総合交付金や都市構造再編集中支援事業、地域未来交付金、防災系の補助金など選択肢はいくつかあるので検討していきたい。(都市建設局理事)

・8ページについて要望があったのは具体的にどこからか。(市長)

⇒商工会議所や商工会議所の不動産部会、リニアのまち橋本を育てる会、議会などからご意見をいただいている。(都市建設局理事)

・検討をすることは良いが、フラットに見て、特定財源なども見た上で判断させてもらいたい。あとはスケジュールが延びることに対してもしっかりと検討してほしい。長期間に渡ることに対応する職員も疲弊してしまう。どういうまちにしたいのかといったビジョンはしっかりと示していただきたい。(奈良副市長)

⇒財源は、措置率など条件を確認し、検討していきたい。(都市建設局理事)

・国費の措置率が下がっている。(奈良副市長)

⇒国家プロジェクトでもあるので、市長もおっしゃっていたが、しっかりと交渉して

いきたい。(都市建設局理事)

・実際に整備することを前提とした調査なのか。スタジアムやアイススケート場の整備もそうだが、都市機能の魅力向上ということで議論を進めていければよい。(萱野副市長)

⇒ 基本的には実施する方向で調査していきたい。(都市建設局理事)

⇒地上を含めた公共空間の在り方を考える中で、地下も含めて整備するのかという検討である。(石井副市長)

・地下空間の整備は、土地区画整理事業で行うのか。(萱野副市長)

⇒U R との調整も必要だが、実施する場合の整備主体は今後調整となる。(都市建設局理事)

・単なる公共空間なのか、民間に波及していくものなのか。(萱野副市長)

⇒隣接する範囲の、民間開発を促していくこともできると考えている。(都市建設局長)

・今回の対象範囲は市の交通広場の地下に限定しているということによいか。(奈良副市長)

⇒基本的にはそのとおり。ただし、調査の結果、地下だけではなく隣接する県有地も使った方が効果的という結果が出ることもあり得る。(都市建設局理事)

・夢がある話である。南口ができてどんな風になるのか楽しみである。南大沢のアウトレットなど、開業時の状況とは人の流れが変わって生きているということも考慮すべき。(教育長)

・これまで、駐車場は設けないという検討を進めてきたと思うが、本来はこのくらいの台数がほしいということで今回の案なのか、それとも地下を作るから駐車場を整備するのか。(緑区長)

⇒北口を含めた橋本全体での駐車場ビジョンでは、今の台数で足りているが、リニア駅ができた後のパーク＆ライドを見越していく中では南口にも必要ではと考えているため、調査で検討したい。(都市建設局理事)

・駐車場であれば、地上に作るか、地下に作るかで費用が大きく変わるため、しっかりと検討していただきたい。(環境経済局長)

・どんなものになるのかということはあるが、災害のリスクはある。消防部隊を置けるような通路など、災害対応が可能な空間を検討してほしい。(消防局長)

・一時避難場所など、そういった場所も作れたら良いと思う。(危機管理局长)

・現在の交通広場は、今朝も16号に向かって大渋滞していた。毎日の駅の利用者にとって、使いやすい駅の空間を作してほしい。(市長公室理事)

・首都圏南西部の広域交流拠点として、注目される中間駅になる。限られた土地の中でまちづくりを進める上で、地下というのは有効な手段。調査をする中では、費用対効果、利活用の内容などを出してもらい、それをもって決めれば良い。(市長)

・調査完了はどの程度か。(市長)

- ・令和9年3月頃。(都市建設局理事)
- ・本日は議論ができてよかった。リニアの停車本数が1時間に1本では、まちの起爆剤として弱いため、3本、5本と増やしていければと思う。(市長)
- ・調査結果が出て、費用対効果や利便性を見て、判断していければ良い。(市長)
- ・どういう空間をつくりたいかというところを委託に任せるのではなく、市としてもそれをしっかりと伝えていくこと。(石井副市長)